

活動ハイライト 1 生産拠点での環境活動

生産拠点の環境配慮を総合的に評価する「グリーンファクトリー認定制度」を導入

コニカミノルタは、「中期環境計画2015」の目標達成を支える取り組みとして、2009年度から「グリーンファクトリー認定制度」による活動を開始しました。これは、生産拠点における環境配慮を総合評価し、一定の基準を満たした拠点を「グリーンファクトリー」として認定する、コニカミノルタ独自の取り組みです。

生産拠点の環境配慮を総合的に評価

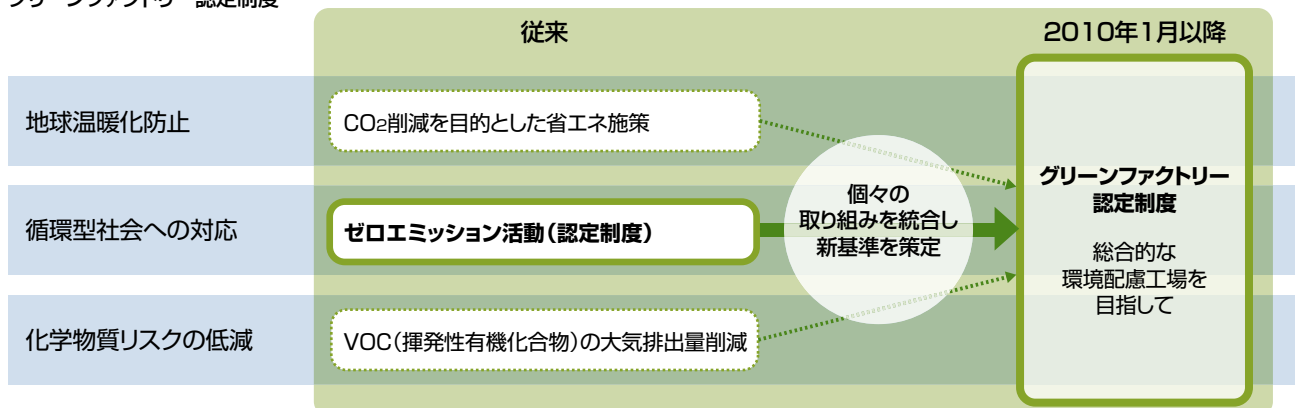
コニカミノルタは、これまで「循環型社会への対応」のテーマで廃棄物の削減に関する2段階の基準を設定し、達成した工場を「ゼロエミッション工場」とする認定制度を運用してきました。その結果、2009年度に全世界のグループ生産拠点がレベル2基準を達成しました。

グリーンファクトリー認定制度は、「循環型社会への対

応」についてさらに厳しい基準※を設定するとともに、「地球温暖化防止」「化学物質リスクの低減」についても全社統一基準を定め、総合的な環境配慮工場を目指す活動に進化させたものです。

※ ゼロエミッション活動の推進により、外部排出物量の削減が進んだ2005年を基準年として設定しています。

グリーンファクトリー認定制度



二段階の基準を設定して、全生産拠点での達成を目指す

グリーンファクトリー認定制度では、2015年度のあるべき姿を基準とした「レベル2」と、そのマイルストーンとしての2011年度の姿「レベル1」を設定し、それぞれの年度までに全生産拠点での達成を目指します。

また、この認定制度では、目標値の達成だけでなく、実施プロセスも評価の対象としています。評価の明確化のため、ガイドラインを策定して、実施状況を点数化する仕組みを

構築しました。ガイドラインは、コニカミノルタの環境施策のノウハウを結集した約250項目におよぶ実施項目と、項目ごとの評価基準などを一覧化したものです。これに沿った活動を行うことで、活動の質的向上も図っていきます。

2010年1月から全世界の24生産拠点※において、策定した実行計画に基づく活動を開始しました。

※ 目標は事業ユニット単位で設定。所在地が異なっても同じ事業ユニットに属する場合は、一つの拠点としています。

グリーンファクトリー認定基準

テーマ	管理指標		レベル1	レベル2
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量(生産原単位※1)		12%削減※6、※7	20%削減※6、※7
循環型社会への対応	ゼロエミッション活動	外部排出物量※2(売上高原単位※3)	30%削減※6、※7	50%削減※6、※7
		外部排出物の最終処分率	0.5%以下	0.5%以下
	石油由来資源廃棄物量※4(売上高原単位)		30%削減※6	50%削減※6
化学物質リスクの低減	VOC(揮発性有機化合物)の大気排出量		「中期環境計画2015」に基づく各拠点の2011年度目標の達成	「中期環境計画2015」に基づく各拠点の2015年度目標の達成
ガイドラインに沿った活動	実施項目の達成率※5		70%以上	90%以上

※1 生産原単位：生産高あるいは生産量あたりの環境負荷量。事業ユニットごとに、CO₂排出に対する生産性が適切に評価できる方を選択します。

※2 外部排出物量：生産活動にともなって発生する総排出物量から内部リサイクル量と減量化量を引いた、コニカミノルタの拠点外に排出される量。

※3 売上高原単位：売上高あたりの環境負荷量。

※4 石油由来資源廃棄物量：外部排出物量のうち、石油由来の排出物量。

※5 ガイドラインでは、実施項目ごとに「0点～3点」の4段階の評価基準と、達成目標となる「基準点」を設けています。達成率とは、全項目に対する、基準点をクリアしている項目の割合を意味します。

※6 2005年度を基準年としています。ただし、事業再編などにより生産品目や生産状況が著しく変化した場合は、規定に従って変更することがあります。

※7 この数値を基本として、工場の特性に合わせた基準を個別に設定しています。

Column

「ゼロエミッション活動」の計画を達成

コニカミノルタは、排出物を再資源化して最終処分量(埋め立て量)を極限まで減らすとともに、排出物量自体の削減も目指すゼロエミッション活動を1999年度から段階的に推進してきました。2007年度には日本国内全拠点がレベル2を達成しました。2006年度から活動を開始した海外拠点でも、2009年度の5拠点認定によって、全拠点がレベル2を達成しました。これにより、全世界のグループ生産拠点でレベル2の達成が完了しました。

コニカミノルタのゼロエミッション達成基準(抜粋)

レベル1

再資源化率：90%以上、最終処分率：0.5%以下、費用削減：外部支払費用を上回る有価売却益もしくは施策効果

レベル2

レベル1基準を達成、売上高あたりの外部排出物量30%以上の削減(基準ベンチマーク※)に対して)

※ 2001年を基本として、拠点の設立時期や事業の変化などに応じて設定しています。

VOICE

立ち上げから2年で 一気にレベル2を達成できました

2008年3月の工場立ち上げから約2年間で、ゼロエミッションレベル1、レベル2を同時達成できました。この活動への取り組みを通じて、従業員の環境に対する意識も高まっています。今後は、グリーンファクトリーという新しい目標に向かって、さらなる環境負荷低減活動を推進していきます。



コニカミノルタガラススタックマレーシア社
QSEマネージャー
Krishnan.K